

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1786回

<ソング> 君が代・奉仕の理想

<ソングリーダー> 石垣善康君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに

李 東建



たいつり草

写真提供：山田 昭雄君

会長報告

青島 克郎君

当クラブ創立2年後の昭和49年10月に入会されて以来、長年に亘りクラブに多大な功績を残されました村松徳君が11月2日にお亡くなりになりました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

8日の土曜日に姉妹都市白山市との親善ゴルフ大会が開催され前日の金曜日には歓迎の懇親会も予定されていますが今回はロータリー関係では白山RCの平本さんがお一人参加されるだけです。でクラブとしては特に対応しない予定です。

白山RCとの交流ではここ10年を見ても平成11年5月に当時の松任RCの親睦旅行を兼ねて35名が例会にお見えになり、平成12年10月にはこちらからゴルフと観光を兼ね一泊旅行に出かけ、平成14年4月には当クラブの30周年式典に松任RCから8名、松任石川RCから2名がお見えになり翌日は藤枝ゴルフクラブで親睦コンペを行いました。

平成19年4月には当クラブの35周年記念式典に原会長以下10名の方がお見えになり、続いて白山ロータリー40周年記念式典に村松英昭会長以下9名が参加いたしました。

さて、11月2日の日曜日に兵庫県のABCゴルフクラブで開催されたマイナビABCチャンピオンシップで石川遼選手がプロ入り初の優勝を果たしました。彼は現在杉並学院高等学校の2年生です。

2007年5月に開催されたプロトーナメントのマンシングウェアオープンで史上最年少で優勝しプロに転向しました。

アマチュア時代は輝かしい成績を残したもののプロ転向後はなかなか結果が出せませんでした。が今回念願のプロとしての優勝ができ感無量だったようです。彼はいつも「期待されるほど僕は巧くないのに」と思っているそうですがその謙虚さがある限り無限の可能性を感じます。

石川選手のスイングは大きく柔軟な体をフルに使い力強く美しいフォームです。ゴルフに限らず殆どのスポーツはフォームの美しさが重要です。柔道でも剣道でもまず形を作ることが基本ではないでしょうか。

以前ゴルフレッスンのビデオでサブリミナル効果を利用した物がありました。これはプロゴルファーの綺麗なスイングを潜在的に脳に焼き付ける事により美しいフォームを作り出すという物でしたがその効果のほどはわかりません。サブリミナル効果はTBSのオウム真理教関連番組内で洗脳目的で麻原彰晃の画像が無関係な場面で一瞬に何度も挿入されて問題にもなり映画やテレビ放送などでは、使用を禁止されていますが科学的にはまだ証明されておらず、効果を疑問視する学者も多いそうです。こんな事を考えるより地道に身体を鍛え練習の方が近道かとも思います。

美しい物は機能的ということは車でも、家電でもあらゆる物に当てはまると思っています。つまり機能的、合理的だからこそ美しいということではないのでしょうか。そういう意味では私の体型を考えるととても機能的とは言えないと言う結論に達します。

■ 理事会報告

仲田 廣志君

- 11月、12月のプログラムが承認されました。
- 渡辺会長指名委員長から、選考経過と結果報告が行われました。
会長・石垣君、幹事・酒向君が選考されました。
- クリスマス夜間例会の計画案が、承認されました。
- 産業大学2期目の冠講座についての報告が、行われました。
4月21日開講日には、牧田ガバナーに、講義をお願いする事となりました。
- 次年度地区役員・委員推薦については、昨年同様見送る事となりました。
- 次回理事会は、11月26日例会終了後開催する事となりました。

■ 幹事報告

仲田 廣志君

- 2008～2009 G S E 研究グループ交換。メンバー紹介と日程表が届いております。
- ロータリーワールドが届いております。
- 第100回国際大会を祝おうのご案内が届いております。

■ 出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
23 / 36 63.89%	26 / 36 72.22%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
○小西君 ○杉山君 ○渡辺君 ○北村君 飯塚君
板倉君 落合君 鈴木舜君 平君 仲田晃君
水野君 望月晃君 望月志君

(2)メイクアップ者
松葉 隆夫君(榛南) 鈴木 勝弘君(静岡北)

■ ビジター

澤脇 圭司君(島田)

■ スマイルBOX

- 4 / 10 孫誕生4代目、10 / 25 結婚式長男、
11 / 2 得意先に披露、10 / 26 藤枝めぐみ販
売会 松葉 隆夫君
- 半世紀の50才になりました。これからも皆様の

指導方よろしくお願いいたします。

結婚して25年目今だ家内には頭が上がりません。これからもよろしくお願いいたします。

春原 良則君

- 誕生祝いありがとう!!アッと云う間の80年
でした。 櫻井 龍太君

- 誕生のお祝いありがとうございます。後藤 功君
- 11月20日は、結婚記念日!!当日の事があざ
やかによみがえりました。本日の例会にお招き頂
き有難うございます。 石垣 善康君

- 11月2日結婚記念日にバラの花束を頂きあり
がとうございました。日頃から家庭で無頓着な私
ですが、今回の花束で家庭での存在価値も高まり
ました。今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。
鈴木 勝弘君

- お祝いありがとうございました。今年は20年目
というふしめの年にもかかわらずいつもと変わ
りがない・・・と妻にしかられたばかりです。

池ノ谷 敏正君

スマイル累計額 336,000円

■ 委員会報告

『ロータリーの友11月号』紹介

クラブ広報担当 柳原 寿男君

今月の左開きの表紙は、紅葉した山うるしの葉蔭
でじっと獲物を待ち伏せするカマキリ、右開きの
それは、植物のように見えるが、れっきとした動
物のウミシダとイソバナです。解説はタテ32ペ
ージ(P)でなかなか趣あり。

ヨコ1PのRI会長メッセージは、今月の財団
月間にちなんで「ロータリー財団は私たちの財団」
と題されている。いつもながら翻訳はなじめない
訳文で、日本語として意味の不鮮明さもあって、
違和感を感じるのは私だけだろうか。

ヨコ6Pからは「ロータリー財団」の詳細な解
説で、日頃、財団活動に疑問の方は此の機会にぜ
ひ一読下さい。

32Pからの地区のたよりは我が第2620地
区からです。「浜名湖浄化プロジェクト」「梅ヶ島

植樹事業」で、浜名湖RCと静岡西・静岡北RCの活動が掲載されています。そしてガバナーわが地区自慢は牧田ガバナーの「富士山を世界遺産に」です。

右開きタテのトップ記事（ロータリーの友ではどちらかと言えばこちら側に興味があるのです。）「高校生の現状から見る子ども像」と題して、広島観音高校々長山廣康子氏のどうしてなんともショッキングな教育現場の実状です。子ども教育については、家庭環境だ、親のしつけが悪いとか教師の質が問題にされたりしています。学識経験者からなる諮問会議や現場を知らない官僚や有識者が決める教育方針はいかなるものかと考えさせられる昨今です。一学年240人で一学期のうちに200人前後が辞めるような高校に、教頭として赴任した筆者の奮闘記です。ぜひご一読下さい。

くらぶ探訪は札幌モーニングRCです。カミネッコン植樹という大層ユニークな植樹活動を続けています。アイデアのあふれたとても参考になる活動です。

■ 会員卓話

畳をフローリングに簡単リフォーム「フロア・ウッド」

森下 敏顯君



<フロア・ウッドのご紹介>

フロア・ウッドは畳を健康かつ清潔なフローリングに置き換える、全く新しい発想で誕生した天然床材です。

○ 畳文化の危機

我々日本人の歴史を振り返ってみると、畳は私達の住まいになくてはならない存在であったことは言うまでもありません。しかし、昨今の生活環境において、畳が持つメリットが存分に活かされているのでしょうか？

国内における畳の生産量はコスト的要因等から非常に困難になりつつあり、一部の高価な国産畳を除く多くの畳は中国やベトナムからの輸入品に頼らざるを得ないのが現状です。

これからの畳の多くは低コストで見た目や話題性を追求するあまり、農薬や漂白剤、防カビ剤、抗菌処理等が過剰されている場合があり、シックハウス症候群の原因となる等、必ずしも国産品の様に安全性を深く配慮しているとは言えません。

畳を設置する住宅の造りそのものも、畳が広く使われていた時代からはかけ離れたものになりました。近代の住宅は、従来の日本家屋に較べると圧倒的に機密性が高く、外界から住宅空間を遮断することで省エネを実現してきました。

よって、畳の下は打ち放しのコンクリートで覆われている場合が殆どです。畳がせっかく室内の余分な湿気を吸ったとしても、吐き出す方法がなく、カビが発生、さらにはダニの繁殖には最適な環境になるわけで、これはとても健康とはいえない悪循環です。

こうした理由から、最近では畳間を持たない新築マンションや、畳をフローリングにリフォームする方が急増しています。

○ フローリングの落とし穴

では、一概にフローリングなら安心といえるのでしょうか？そうではなさそうです。

一般的にフローリングというと「合板」の製品が多いのですが、これらは「WPC (Wood Plastic Combinationの略)」プラスチック樹脂を注入して成形するため、メンテナンスが簡単な上、工事はしやすいのですが、木そのものが全くと言っていい程、呼吸できません。

部屋の湿度調節などはもちろんできませんし、表面がプラスチックであるため、乾燥して静電気の発生率が著しく、ホコリもとても目立ちます。

新築にもかかわらず、廊下などの隅にホコリ

がボール状になって転がっているのを良く見かけるのは、こうした樹脂系のフローリングの弊害といえます。

このようなホコリはダニやノミにとって格好の住処になってしまいます。機密性の高い部屋や廊下を人が移動したり、エアコンの風などでそうしたホコリが舞い上がっている事を考えると、近代的な生活はとても健康とは言えません。

○ フロア・ウッドの誕生

当社は、これまで、建設会社として数々の建築プロジェクトを担当してきましたが、こうした建材選択の問題に直面し、「フロア・ウッド」の開発をスタートしました。「機密性が高まる現代の住宅において、いかにしてより健康で清潔な生活ができるのか。」という当社の問いが行き着いた答えは天然檜無垢材による「自然回帰」でした。

（担当 / 石垣）